

# 健常ボランティア募集のお知らせ

## 『動脈弾性能と骨格筋機能の関連性および筋力トレーニングによる改善効果の検討』

東邦大学佐倉病院リハビリテーション部では、研究に協力して下さるボランティアを募集しています。

### 【研究の背景および目的】

筋量や筋力が減少した状態(サルコペニア)は、介護度の増加や病気の発症等に影響を与えます。また健康な高齢者の方々を対象とした研究では、動脈硬化の指標である心臓足首血管指数(CAVI)とサルコペニアの判断指標である手・脚の筋肉量に関連があったと報告されております。このことから筋力や筋量などの運動機能と動脈硬化などの動脈が硬くなった状態は関連があると考えられますが、不明な点が多いです。

そのため、東邦大学医療センター佐倉病院リハビリテーション部では、健康な成人の方を対象に CAVI による動脈の弾力性の検査と運動機能の測定を行いこれらの関連性を検討する研究、更に継続的な筋力トレーニングによる動脈の弾力性の改善状況を検討する研究を計画しております。

この研究により得られる成果は、効果的なリハビリテーションや運動の方法を考えるための新たな知見に繋がります。皆様のご協力をお願いいたします。

### 【研究方法】

この研究は、東邦大学医学部倫理委員会の承認を得て実施するものです。

測定会では握力・歩行速度・持久力・バランス機能などの運動機能、体組成(全身の筋肉量や脂肪量などを測定します。また太ももの筋肉(大腿四頭筋)の筋力トレーニングを行う前と運動直後・運動後 5 分で筋肉の酸素の取込み能力(近赤外線分光法による組織酸素飽和度)、CAVIによる動脈の弾力性を測定します。また参加者には自宅で筋力トレーニングを週 3 回、12 週間継続的に実施して頂き、運動効果を評価するため 12 週後の測定会にも参加して頂きます。

所要時間は、1 回の測定会は約2時間を予定しております。

### 【募集対象および人数】

健康な 20 歳以上の成人で、本研究への研究協力に同意して頂ける方、約60名を予定しております

### 【謝礼】

本研究に参加いただける方には、薄謝として QUO カード1000円分と 12 週後の測定終了時に筋力トレーニング用のゴムバンドをお渡しいたします。

**【実施場所】**

東邦大学医療センター佐倉病院 7階講堂  
〒285-8741 千葉県佐倉市下志津564-1

**【連絡先および担当者】**

ご応募いただいた方には個別に面接を行い、試験項目や実施期間などについて詳しくご説明いたします。本研究にご協力くださる方やご質問のある方は、下記連絡先までご連絡ください。

東邦大学医療センター佐倉病院  
リハビリテーション部  
技師長補佐・小川明宏  
rtp-ogw0318@sakura.med.toho-u.ac.jp  
電話:043-462-8811